



令和5年度 園だより 6月号

R5.6.1 千葉敬愛短期大学附属幼稚園

幼稚園では5月から園文庫の貸し出しが始まりました。幼稚園で楽しんでいる絵本をご家庭でも楽しんでいただきたいと思います。子どもたちにとって絵本は「こころのミルク」と呼ばれています。食物のいろいろな栄養をとることでバランスよく育つように、絵本も多様な絵本との出会いで子どもの心がバランスよく健やかに育ちます。私も二人の子どもが小さい頃には、毎日絵本の読み聞かせをしていました。それぞれにお気に入りの絵本があって、何度も何度もせがまれて読んだことを懐かしく思い出します。子どもにとって大好きな絵本は様々です。電車の絵本が好きな子、冒険のストーリーが好きな子、ファンタジーのお話が好きな子など一人一人違います。大人はまた同じ絵本なの？と心配しますが、まずは満足いくまで何度も読んであげることが大切です。お父さん、お母さんの温かい声で読んでもらうことは子どもにとって何よりの幸せな時間です。安心感に包まれてほっと一息つける場があることで、明日も頑張ろうという気持ちになります。そして、1冊の絵本から次々とお話の世界が広がっていくことは間違いありません。

福音館書店「母の友」では次のようにも書かれています。

子どもにとって信頼できるおとなに読んでもらう体験はかけがえのないものなのです。上手に読もうとするのではなく、一緒に楽しみながら読んでください。「絵本はおもしろいもの＝“遊び”に属するもの」おとなが共に“遊ぶ”ことで互いの心が見えてくる。同じ世界を楽しむ経験は生涯の思い出となるはずです。


ゆったりとした気持ちでお子さんとの絵本タイムをお楽しみください。

園長 和田 由美



♥ ひとことメッセージ ♥

・絵本タイムは親子の心をつなぐ大切な時間！楽しく読むのがベスト。

	今月のねらい	今月のうた♪
年少	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな遊びを見つけ、十分に楽しむ ・自分の思いを保育者に伝えようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・とけいのうた ・かえるのうた
年中	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや保育者といっしょに遊ぶ心地よさを感じる ・自分の思っていることを相手に伝えようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・とけいのうた ・かたつむり
年長	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物や自然の素材と関わり、その特徴や特性に気づく ・自分なりの課題をもち、友だちと工夫しながら遊ぶ楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨ふりくまの子 ・とけいのうた

